

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

(作成) 愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

麻しん患者発生状況

インフルエンザ警報発令中

集団かぜの発生について

定点医療機関コメント

溶連菌感染症、感染性胃腸炎(ロタウイルス等)、インフルエンザ、マイコプラズマ等

全数把握感染症発生状況

()内は件数。結核(29)、細菌性赤痢(2)、急性脳炎(1)、後天性免疫不全症候群(2)、梅毒(2)、麻しん(14)

2008年2月報

定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

感染性胃腸炎 保健所定点あたり 津島 25.0人、江南 16.2人、豊橋市 14.1人、豊川 12.5人

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点あたり2.50人、前週比1.2倍(387人 455人)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf> をご覧ください。

トピックス

麻しん患者発生状況

2008年1週~11週診断分(3月12日現在)の全国の麻しん患者累計は3,630人、うち愛知県は33人です。

麻しんを診断した場合は**できる限り24時間以内に保健所へ**報告をお願いします。

【参考ページ】

麻しん(はしか)に注意しましょう ~はしかにならない、はしかにさせない~(ネットあいち)

<http://www.pref.aichi.jp/0000013280.html>

麻しん患者調査事業における麻しん患者発生報告状況(2008年)

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_3.html

図1 保健所別患者報告数(3月12日現在)



インフルエンザ警報発令中

10週の定点あたり報告数は3保健所(春日井、江南、豊橋市)にて10.0以上です(全ての保健所の定点あたり報告数が10.0未満になるまで警報が継続します)。愛知県全体の定点あたり報告数は5.73人、前週比0.9倍(1,219人 1,117人)です。

2007/2008シーズンのインフルエンザ情報は以下のページをご覧ください。

保健所別・週別患者報告数 「2007/08シーズンインフルエンザ発生状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map.html

「インフルエンザウイルス分離状況」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/infbunri07_08.html

集団かぜの発生について

瀬戸及び春日井保健所管内で集団かぜが発生しました。詳しくは以下のページをご覧ください。

「集団かぜの発生について」(ネットあいち)

第28報 (3月10日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000013366.html>

第29報 (3月11日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000013415.html>

第30報 (3月12日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000013524.html>

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

インフルエンザ7名すべてA型です。

【一宮市 一宮市立市民病院】

感染性腸炎多い。

軽症だが、長い経過の子が多い。

【一宮市 あさのこどもクリニック】

インフルエンザ5名 うち1名 15歳男子
Flu(A/B)陽性

【一宮市 後藤小児科医院】

1歳3か月女 カンピロバクター

【一宮市 さかたこどもクリニック】

インフルエンザはすべてA型です。

【一宮市 医療法人かすがい内科】

インフルエンザ1名はA型です。

【稲沢市 野村整形外科】

インフルエンザA型のみ18例。

ロタ陽性胃腸炎多発。

溶連菌も多発しています。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

インフルエンザ16名(A型15名、B型1名)
溶連菌感染症22名と前週に比べて増加しました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
インフルエンザなし。

【扶桑町 いずみ内科】

インフルエンザの再流行と水痘も一部で
流行ありました。

犬山東部ではアデノウイルスもありました。

B型インフルエンザもありました。

A型に2回目の罹患した患者がいます。

【犬山市 武内医院】

28歳女、25歳男 マイコプラズマ感染症。

溶連菌感染症が多発しています。家族内感
染もみられます。

ロタウイルス胃腸炎も多いようです。

【春日町 丹羽医院】

20代姉妹2名、麻しんIgM陽性。同時発症。

【北名古屋市 田中クリニック】

尾張東部地区

溶連菌感染症が多く、インフルエンザもま
だみられます(A型10名)

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

インフルエンザの流行は終息したようです。

感染性胃腸炎が少し目立ちました。

その他溶連菌感染症等。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

インフルエンザ感染症減少しています。

【春日井市 春日井市民病院】

インフルエンザA型18例、B型1例。

感染性胃腸炎急増。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

6歳ムンプスIgM上昇あり。

【春日井市 竹内医院】

新たに麻しん3名(うち抗体診断2名)

【小牧市 小牧市民病院】

溶連菌感染症がきわめて多く、再感染再燃
例もかなり見られます。

インフルエンザは20例中5例がB型です。

ロタウイルス感染症も増加中。

【小牧市 志水こどもクリニック】

相変わらず溶連菌が多いようです。

インフルエンザもまだ出ています。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

インフルエンザB 4名

17歳女 百日咳流行株160倍

【半田市 医療法人林医院】

インフルエンザA 6名

【半田市 医療法人敬おっかわこどもクリニック】

A型インフルエンザ1名

感染性胃腸炎散発

【南知多町 医療法人大岩医院】

マイコプラズマ感染症(7歳女、12歳男)

百日咳(2か月女)

【美浜町 厚生連知多厚生病院】

0-5歳 ロタウイルス 9名

【東海市 東海市民病院】

インフルエンザA 4名

5歳女病原大腸菌O25(+)ペロトキシン(-)

ロタ腸炎 4名

【大府市 まえはらこどもクリニック】

インフルエンザまだ少しはやっています。

すべてA型です。

溶連菌感染症目立ちます。

感染性胃腸炎多いです。

ロタ陽性 4名 点滴が必要な児はロタ
(+)が多いです。

ヘルペス歯肉口内炎 1名

アデノ扁桃炎(結膜炎を併る) 1名

【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA型 3名
インフルエンザB型 2名
StrepA (+) 7名
ラピッドテスト ロタウイルス (+) 3名
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザA型 24名
【豊田市 田中小児科】
ロタウイルス (+) 1名
インフルエンザA型 3名
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
カンピロバクター (+) 4歳男
溶連菌感染症が目立つ
インフルエンザは全例A型 (25例)
【岡崎市 花田こどもクリニック】
1歳男、7歳女 アデノウイルス感染症
1歳女 ロタウイルス感染症
16歳男 カンピロバクター感染症
インフルエンザ減りました。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
アデノ (+) 1歳女、8歳男
4歳男 カンピロバクター
病原性大腸菌O74 (+) VT (-)
【岡崎市 にいのみ小児科】
マイコプラズマ肺炎 5歳男、2歳女
病原大腸菌O1 1歳女
インフルエンザA型 13、B型 1 (ワクチン
接種者 6)
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

インフルエンザA型：5名〔予防接種済 2名、予防接種未 3名〕でした。なお迅速検査
確定 4名、患者家族 1名。
【岡崎市 栗屋医院】
インフルエンザ 全てA型です。
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】
インフルエンザはA型
マイコ気管支炎 1歳、4歳、6歳、9歳
ロタウイルス腸炎 0歳 2例、1歳 8例、4
歳 1例
【刈谷市 田和小児科医院】
感染性胃腸炎が目立ちます。
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザA 6名
RSウイルス 1名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザが少なくなりました。
【三好町 三好町民病院】
カンピロバクター 3歳男、9歳男、4歳男
病原性大腸菌O15(VT-) 4歳男
カンピロバクター+病原性大腸菌O74(VT-) 3歳男
インフルエンザは全例A型です。(今シーズンは1例のB型を除き全てA型です)
【幸田町 とみた小児科】
感染性胃腸炎が相変わらず多いようです。
【西尾市 やすい小児科】
インフルエンザ・感染性胃腸炎ともに減少。
病原性大腸菌O1 10歳女
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

A群溶連菌感染症が増えてきました。
インフルエンザA型 2回感染した児がいました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型散発中、水痘流行中
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
1歳女 ヘルペス歯肉口内炎
【豊橋市 医療法人野村小児科】
インフルエンザA型 7名
【豊橋市 おだかの医院】

インフルエンザはA型 9名、B型 1名の
計 10名で減少しています
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】
インフルエンザ減少している
A 13件、B 1件 合計 14件
【豊川市 豊川市民病院】
3歳女、カンピロバクターと、*E. coli* O
25の両方検出
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）3月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun071228.pdf>)

結核 (二類感染症)

報告保健所	10週報告数			2008年累計(1～10週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	13	7		149	53	3
豊田市	2	1		11	3	1
豊橋市				11	6	2
岡崎市	3	1	1	14	9	1
一宮	2			16	5	
瀬戸	3	1		28	11	1
半田	2	1		11	3	2
春日井	1	1		17	5	
豊川	1			2	1	
津島				5	1	
西尾	1	1		9	5	1
江南				10	3	1
新城				2	1	
知多	1			10	3	1
師勝	1			4		
衣浦東部				9	1	2
合計	30	13	1	308	110	15

細菌性赤痢 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	津島	31	女	2/29	3/2	3/6	インドネシア
2	衣浦東部	9	女	3/2	3/3	3/6	国内

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）						
急性脳炎（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病原体	推定感染地域	
1	春日井	13	男	インフルエンザA型	国内	
後天性免疫不全症候群（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35	男	無症候期	性的接触	国内
2	名古屋市	60	男	その他	性的接触	国内
梅毒（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	28	女	無症候	性的接触	国内
2	新城	81	女	無症候	不明	国内
麻しん（五類感染症）						
番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域	
1	名古屋市	37	女	無	国内	
2	名古屋市	5	男	無	国内	
3	名古屋市	1	男	無	国内	
4	名古屋市	16	男	不明	国内	
5	豊田市	35	男	不明	国内	
6	瀬戸	25	男	無	国内	
7	春日井	1	女	無	国内	
8	春日井	3	女	無	国内	
9	春日井	16	男	有	国内	
10	西尾	28	男	不明	国内	
11	師勝	20	女	不明	国内	
12	師勝	25	女	不明	国内	
13	師勝	26	男	不明	国内	
14	師勝	26	男	不明	国内	

2008年2月分月報

(2008年3月12日現在)

2月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況

(診断日に基づく集計です)

2006～2008年に報告のあった 疾病名および病型 ()内は全数把握対象疾病数		2008年2月			2008年	2007年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県 全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (4)	結核 (再掲) 無症状病原体保有者	67 5	61 2	128 7	267 13	1435 118
三類 (5)	コレラ	0	0	0	0	0
	内訳 患者	0	0	0	0	0
	疑似症患者	0	0	0	0	-
	細菌性赤痢	0	0	0	4	25
	腸管出血性大腸菌感染症	2	0	2 *	5	166
	内訳 患者	0	0	0	2	130
	無症状病原体保有者	2	0	2	3	36
	腸チフス	0	0	0	0	3
	内訳 患者	0	0	0	0	3
	無症状病原体保有者	0	0	0	0	0
	パラチフス	1	0	1	1	0
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	0	8
	A型肝炎	0	0	0	1	6
	オウム病	0	0	0	0	1
	Q熱	0	0	0	0	1
	つつが虫病	1	0	1	3	4
	デング熱	0	0	0	0	7
	日本脳炎	0	0	0	0	1
	マラリア	0	1	1	1	1
	ライム病	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	3	0	3	7	41
五類 (14)	アメーバ赤痢	1	2	3	10	59
	ウイルス性肝炎	0	1	1	3	8
	内訳 B型	0	1	1	3	7
	C型	0	0	0	0	1
	急性脳炎	1	0	1	4	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	6
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	1	6
	後天性免疫不全症候群	1	5	6	18	123
	内訳 無症候期	0	4	4	9	79
	AIDS	1	1	2	8	38
	その他	0	0	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	2
	梅毒	7	3	10	17	75
	内訳 無症候	3	1	4	8	19
	早期顕症	4	2	6	9	52
	晩期顕症	0	0	0	0	1
	先天梅毒	0	0	0	0	3
	破傷風	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	2
	風しん	0	0	0	1	-
	麻しん	9	1	10	12	-
	総 計	94	74	168	355	1986

* ; 026 2件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2008年2月			2008年 累計	2007年 総計
		愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	81	48	129	285	1,699
	性器ヘルペスウイルス感染症	24	24	48	112	576
	尖圭コンジローマ	27	21	48	82	462
	淋菌感染症	35	31	66	140	810
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	75	7	82	193	1,045
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	5	5	12	83
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	1	7

感染症の類型及び定義

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (4疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
指定感染症 (1疾病)	既知の感染症(一～三類感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあるもの。一年間に限定した指定。インフルエンザ(H5N1)が平成18年6月2日に指定され、さらにその期間が1年間延長(平成20年6月11日まで)された。

愛知県感染症情報

2008年10週(2008年3月3日～2008年3月9日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県																							
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	52	17	14	1,117	35	455	1,663	214	13	14	111	7	5	70	0	12	0	0	4	2
総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	13	901	26	348	1,135	167	10	10	92	5	5	50	0	9	0	0	2	0
名古屋名古屋市	70	70	11	15	5	1	216	9	107	528	47	3	4	19	2		20		3			2	2
尾張東部瀬戸	9	9	2	3	1	1	32	3	33	34	7		2	4									
海部津島津島	7	7	2	2	1		43	3	14	175	3		1	6			3					1	
尾張中部師勝	4	4	1	1			22		11	8	8		1					1					
尾張西部一宮	16	12	3	4	1	1	81	1	19	107	13		1	10			5		2			1	
尾張北部春日井	9	9	2	3	1		104	7	61	82	8		2	8	2	3	4		2				
	江	南	6	6	1	2		108	1	40	97	17	1	10			7		1				
知多半島半田	6	6	1	2	1	2	25	1	6	56	3		1	8	2		5						
	知	多	7	7	2	2	1	34		23	70	6	1	8			11						
西三河南部岡崎市	11	7	2	2	1		67	2	50	69	17			7			4						
	衣	浦	13	13	2	4	1	3	88	2	37	109	29	6	1	11		4					
	西	尾	5	5	1	2	1		14		11	53	4			2							
西三河北部豊田市	9	9	2	4	1	1	82		11	62	11	1		6			3		2				
東三河南部豊橋市	12	8	2	4	1		120	1	14	113	17			6			1						
	豊	川	9	8	1	2	1	4	74	1	18	100	18	1	1	3		1					
東三河北部新城	2	2			1		7	4			6												

*鳥インフルエンザ及びインフルエンザ(H5N1)を除く

愛知県感染症情報

2008年10週(2008年3月3日～2008年3月9日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	インフルエンザ*	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	13	901	26	348	1,135	167	10	10	92	5	5	50	0	9	0	0	2	0
～6ヶ月	7	7			14	6			6	2								
～12ヶ月	5	11	1	1	71	10			47		1							
0歳																		
1歳		47	5	6	211	21	3	1	33		1	4						
2歳	1	51	4	14	153	14	2	2	6		2	4						
3歳		63	2	25	101	26		2				5						
4歳		73	10	66	104	31	2	1				10						
5歳		83	2	76	93	20	2	1		1	1	12						
6歳		62	1	59	60	21	1					5						
7歳		70	1	26	40	5		1				4						
8歳		51		23	49	3						2						
9歳		29		17	39	1		1				1						
5歳～9歳																	1	
10歳～14歳		141		23	72	1		1				2						
15歳～19歳		24		1	10	1				1								
20歳～				11	118	7				1		1						
20歳～29歳		60												3				
30歳～39歳		61												4				
40歳～49歳		37																
50歳～59歳		14											2					
60歳～69歳		6																
70歳～																		
70歳～79歳		9																
80歳以上		2															1	

*鳥インフルエンザ及びインフルエンザ(H5N1)を除く